

日本鱗翅学会大会講演要旨の書き方 伊藤 勇人(関東)

1.はじめに

発表の講演者(一般講演, ポスター発表, 小集会での発表を含むすべての発表)には, 講演要旨の作成し, 提出をお願いしている。この講演要旨の書き方は実際の体裁に従って書かれており, 本文をテンプレートにしてもらうことで, 発表者の負担を少しでも減らすことを目的としている。

2.提出していただくもの

発表者は大会で配布する冊子用の講演要旨を大会事務局まで投稿してください。要旨投稿の締め切りは**8月31日**です。期日までの投稿をお願いします。

刷り上がりA4版1ページが掲載可能範囲になっています。図版は白黒で掲載されます。投稿原稿は講演要旨集として冊子にまとめて印刷され, 大会参加者および, 購入希望者に配布されます。マイクロソフトWord形式での作成, 投稿を推奨します。

3.体裁

A4縦長で余白は上下左右25mmずつです。なお, このファイルは規定通りに作成しているため, テンプレートとしてお使いいただけます。和文または英文で作成してください。A4の範囲内であれば和文英文の併記でも構いません。講演番号やページ番号は不要です。掲載の都合上, 事務局の方で体裁の修正を加えさせて頂く場合があります。あらかじめご了承ください。

・表題: 中央揃えにしてください。

・発表者名: 名字と名前の間には半角スペースを入れ, 中央揃えにしてください。著者名, 所属支部や所属機関名を記載してください。所属機関は略称でも構いません。発表者が複数の場合は全員を列記してください。共催学会から発表の場合は所属機関名に共済団体の名称を記入してください。

以下に書き方の例を記載します。

(例1) 発表者が一人の場合

伊藤 勇人(関東)

(例2) 発表者が複数人の場合: 発表者の名前の前に○印をつけてください。各人の後ろに数字で番号を振り, 次の行に対応する所属を記載してください。

○伊藤 勇人¹・矢後 勝也¹・新津 修平²

(1関東・東大総研博, 2日本蛾類学会・東京都立大)

・本文: 左揃えにしてください。フォントは明朝系を推奨しますがゴシック体を利用・併用することも可能です。フォントサイズは10~11Ptにしてください(本稿は游明朝・10Ptで作成しています)。斜体(イタリック体)やボールド体(太字), アンダーラインなどは使用可能です。

・図表: 白黒で印刷されます(図1)。余白にはみ出さないように埋め込んでください。フルカラーで入稿していただいても構いませんが, 白黒に変換されることをご了承ください。

4.最後に

書き方や投稿方法についてなにか疑問点等ございましたら, お気軽に大会事務局までご連絡ください。



図1 白黒の図の例